⑥　退職給付に関連する損益

（単位：円）

勤務費用	36,568,863
利息費用	2,964,546
期待運用収益	△ 3,946,063
数理計算上の差異の当期の費用処理額	52,825,086
過去勤務費用の当期の費用処理額	△ 86,860,434
簡便法で計算した退職給付費用	27,613,900
合計	29,165,898

⑦　年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

国内債券	49.7％
国内株式	10.4％
外国債券	10.3％
外国株式	11.5％
オルタナティブ	14.6％
キャッシュ等	3.5％
合計	100.0％

⑧　長期期待運用収益率の設定方法に関する記載

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

⑨　数理計算上の計算基礎に関する事項

期末における主要な数理計算上の計算基礎

割引率	0.50％
長期期待運用収益率	1.70％

２．キャッシュ・フロー計算書関係

キャッシュ・フロー計算書における資金は、手許現金、随時引き出し可能な預金からなっております。

⑴　資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金勘定	572,209,535,311円
定期預金額	△353,900,000,000円
資金期末残高	218,309,535,311円

⑵　重要な非資金取引

該当事項はありません。

３．固定資産減損関係

⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、場所、種類、帳簿価額等の概要

No	用途	場所	種類	金額
①	研究機器	北海道札幌市	工具器具備品	25,808,957
②	研究機器	東京都江戸川区	工具器具備品	23,661,459

⑵　認められた減損の兆候の概要

当該固定資産の稼働実績が取得時の想定と比べて低下しているため、減損の兆候が認められます。

⑶　減損の認識に至らなかった理由

当該資産は、現に使用されているほか、経常的な保守管理が行われており、使用目的に従った機能を現に有していることから、減損を認識しておりません。

４．不要財産に係る国庫納付関係

（単位：円）

①　資産種類		現金
②　資産名称		医療研究開発革新基盤創成事業における不要金銭
③　帳簿価額	⑴　取得価額	13,749,815,730
	⑵　減価償却	—
	⑶　帳簿価額	13,749,815,730
④　不要財産になった理由		本事業において、開発終了に伴い企業から回収した開発費及び成果利用料収入について、将来にわたり業務を確実に実施するうえで必要がなくなったため
⑤　国庫納付等の方法		不要財産の現物による納付
⑥　譲渡収入の額		—
⑦　控除費用		—
⑧　国庫納付等の額 納付等の年月日	⑴　国庫納付額	①　13,737,540,274　②　12,275,456
	納付年月日	①　令和６年12月26日 ②　令和６年12月26日
	⑵　地方公共団体への払戻額	—
	納付年月日	—
	⑶　その他民間等への払戻額	—
	納付年月日	—
⑨　減資額		13,737,540,274
⑩　備考		